

一般質問

一般質問は市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを質問することです。各議員の一般質問の中から一つ取りあげて要旨を掲載いたします。

土浦協同病院について



藤川富雄 議員

質問 市や議会は一丸となつて、市民の要望に応えるため旧市内にと訴えてきたが、新聞記事に、おおつ野地区に決まりつつあり、それに協力していくのが基本方針で、土浦市始め周辺市町村に納得していただくことも大切とあった。老若男女問わず市民が親しんだ病院でもあり、これが決定であると残念だが、そこで確認を含め伺う。

市長

協同病院の移転新築に關しては、まちづくりの観点から、真鍋地区で医療サービスを提供を継続するように、最大限の支援策を含め、これまで真摯に対応してきましたが、新聞記事以上の内容は、まだ承知をしていない。今後、議会や、市民にも報告する機会があると考えている。

(掲載以外の質問事項)

- ・震災後の再調査について
- ・国民宿舎「水郷」について
- ・放射線測定について



土浦協同病院

住宅リフォーム助成制度の実施について及び被災家屋修繕に対する助成について



久松 猛 議員

質問

住宅リフォーム助成制度は、自宅リフォームの経費の一部を助成するもので、市民には喜ばれ、住宅関連業者の仕事おこしにつながり、地域経済の活性化や税収増にもつながり全国の自治体で実施されている制度であるが、執行部の見解を伺いたい。また、被災家屋の修繕費に対する助成制度であるが、市民へ概要について伺う。

市長

地域経済対策としての効果があったとして、国土交通省で、社会資本総合整備交付金事業の活用が図られることになり、本年度、交付金の活用を前提に助成制度の導入について準備を進めてきたが、3月11日の東日本大震災の発生で、市内全域にわたり数多くの住宅などが被災したことから、住宅リフォーム制度の導入に優先して、震災による被災者の負担軽減を図る目的で、住宅等の修繕費の一部を助成する制度を創設した。

制度の内容は、本市に住民登録があり、かつ被災住宅の居住者とし、家を借りている方は、家主の同意を得て修繕を行った場合としている。ま

た、修繕の対象は、屋根や外壁、床、基礎及び塀とし、既に修繕を終えたものも対象とした。ただし、被災者生活再建支援法による支援の適用者や、家を貸している方、空き家、物置、車庫などの非居住建物、家財道具などは対象外としている。

(掲載以外の質問事項)

- ・防災対策について
- ・児童クラブは、夏休み期間中だけでも小学4年生まで受け入れる必要があると思うがどうか

地域防災計画と避難体制(災害時要援護者の被災時における困難の解決について)



白戸優子 議員

質問 災害時要援護者や、家族に障害者がいる方は、今回の震災では生死に関わるような困難に直面したと伺っているが、災害時要援護者の存在はもっと意識されるべきで、災害時にどうすればサポートしてもらえるかを明示し家族を安心させるべきで、災害時の困難は様々だが、そ

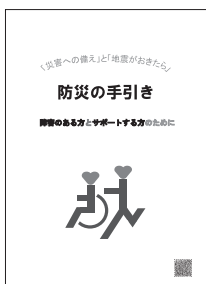
こに手を差し伸べていく姿勢が求められており、その見解を伺う。

保健福祉部長

市では、災害時要援護者対策として、障害者向け防災マニュアルを作成し、障害者手帳を持つ方全員に配布するとともに、登録制の災害時要援護者支援制度を創設し、災害時の安否確認や避難の支援を行うための体制を整えており、今回の震災では、発生直後に、登録者の安否確認を行い、全員の無事を確認した。その他、関係機関等との連携により様々なケースに対応を図ったが、今後とも、災害時要援護者の方に対する防災対策及び防災時対応の一層の充実を目指し、関係機関との連携を深めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- ・地域防災計画と避難体制について
- ・インフルエンザ予防接種補助の対象年齢拡充について



障害者向け防災マニュアル「防災の手引き」